

新日本ツーリスト

第一線で働く社会人の先輩方にインタビュー

1. 今の職業を選んだ理由は何ですか？

宮本さん：旅行が好きなので、いろいろな所に行けるというイメージから旅行会社を選びました。

近江さん：学生時代は県外に出ており、また留学経験があったので、県外だけでなく海外の人も地元と呼びたいという夢がありました。そこで、地元で旅行会社を探していました。

2. 就職してから大変だったことは何ですか？

宮本さん：時間と体力ですね。朝が早く、夜が遅いので慣れるまでは大変でした。最初山登りのツアーを担当していたのですが、日本アルプスを登るツアーの際には、緊張もあり夜行バスで寝られないという日もありました。大変でしたが、「3年は頑張ろう」という気持ちがあったので、続けることができました。今は、利益を出し続けていくことが大変だと感じています。

近江さん：私は、コトバツアー立ち上げの際に入社したのですが、ゼロからのスタートだったので大変でした。旅のしおりも無かったので、夜な夜な作っていました。弊社では、ツアーを企画↓集客↓添乗まで同じ担当者が担うので、その分、すべきことも多く、日々、あつという間に時間が過ぎていきました。

3. この仕事のやりがい、魅力について教えてください。

宮本さん：…ないものを作るのが好きな人にはやりがいを感じる仕事だと思います。一般の旅行会社では既存のツアーを売ることが多いですが、弊社では思いを込めて自分が作ったツアーをお客様に提供しています。ゼロからツアーを作るのは実際には大変ですが、自分で作ったツアーだからこそ思い入れが強くなります。

近江さん：…一生懸命に情報を集め、自分で作った企画をお客様に喜んでもらえ、それがお金になるというのは、この仕事の魅力でもありやりがいでもあります。ツアーを作る際に、特に大事にしているのは、お客様へのサプライズやおもてなしの心です。例えば、誕生日のお客様がいらしたら誕生日と一緒に祝いさせていただいています。また、ツアー中にお客様に付けていただくネームカードの裏側にお客様一人ひとりに向けたメッセージを書いています。ネームカードのデザインや言葉は、会話の種になればと思います。担当者がそれぞれ工夫して作っているんです。



仕事のやりがいは、自分が一生懸命情報を集め、作った企画がお客様に喜んでもらえ、それがお金になる、これが魅力でもありやりがいでもあります。

企業 Vol.1 インタビュー

インタビュー：香川大学経済学部3年生 久保ひろの 宮本麻里

～1日の流れ～

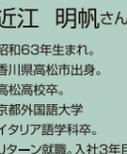
- ★事務所の場合
9:00 出社(朝礼開始)、電話対応、企画
13:30 ランチタイム、ツアーの準備、手配確認
20:00 退社
- ★添乗(京都)の場合
7:30 本社出発。ツアー中は、自分が下見して見つけたオススメの場所を案内、お客様と一緒に食事
*食事の場所は、下見で見つけた美味しく、普段は団体ツアーに使われていない穴場の場所を案内
20:30 香川に戻り
23:00 帰社
お礼状の作成、ログ書き

プロフィール

宮本 育志さん
昭和54年生まれ。
香川県丸亀市出身。
坂出高校卒。
大阪学院大学法学部卒。
Uターン就職。
入社11年目。3児の父。



近江 明帆さん
昭和63年生まれ。
香川県高松市出身。
高松高校卒。
京都外国語大学
イタリア語学科卒。
Uターン就職。入社3年目。



4. 御社の強みは何ですか？

宮本さん：バス会社を持っているということですね。バス会社が旅行部門を持っている場合が多いのですが、弊社は旅行会社がバス部門を持っているんです。そのため、バス旅行に特化した商品をプロデュースすることができるとは思います。

また、社員間の仲がいいことも強みです。上司にも意見を言いやすく、風通しが良い職場なので、挑戦やチャレンジしやすい環境なんです。社員は思ったことを言えるので、意見の共有がしやすいのも弊社の強みだと思います。

5. 職場で言われて心に響いたことについて教えてください。

宮本さん：言葉というよりは、仲間の行動に感動することがあります。ツアーの添乗で帰社が遅くなった仲間の机の上に、「頑張つてね。」というメッセージとお菓子などが置かれているのを見かけるのですが、仲間意識が高いなあと感じます。この間も、寒い所へのツアーに添乗する日に近江からカイロをもらったんです。近江のおもいやりがうれしかったんです。こうして、仲間に対しても「おもてなし」の心があるからこそ、お客様にも「おもてなし」ができるのだなあと感じています。

近江さん：夜行のツアーで何回も来て下さっているお客様がいらっしゃるのですが、「あなたの笑顔を見ていると癒されるね。」と言われた時はうれしかったですね。

6. 学生時代にやっておけばよかったと感じることは何ですか？

宮本さん：読書ですね。社会人になるとなかなか読めないのが、学生時代に読む癖をつけておくことが大事だと思います。本には先人たちの言葉が蓄積されていますからね。また、地元の友人達との付き合いを続けていたのは良かったですね。大切な人脈です。

近江さん：京都へのツアーを担当することが多いので、学生時代にせうかく京都に住んでいたのもっといろんな場所を巡っておけばよかったと思います。逆に、やっておいてよかったと思うのは、自分で進学先の大学を決め、留学もし、自分の意思で積極的に行動したこと。特に、留学経験は、海外に一步出ることによって見える世界がかなり広がったのは良かったです。

7. 御社ではどのような人を求めていますか？

宮本さん：素直な人。また、人を喜ばすのが本当に好きな人。そのような人がこの仕事にはあっていると。思います。旅行が好きで、人では少し違いますね。おもてなしが好きな人が我社には合っていると。思います。